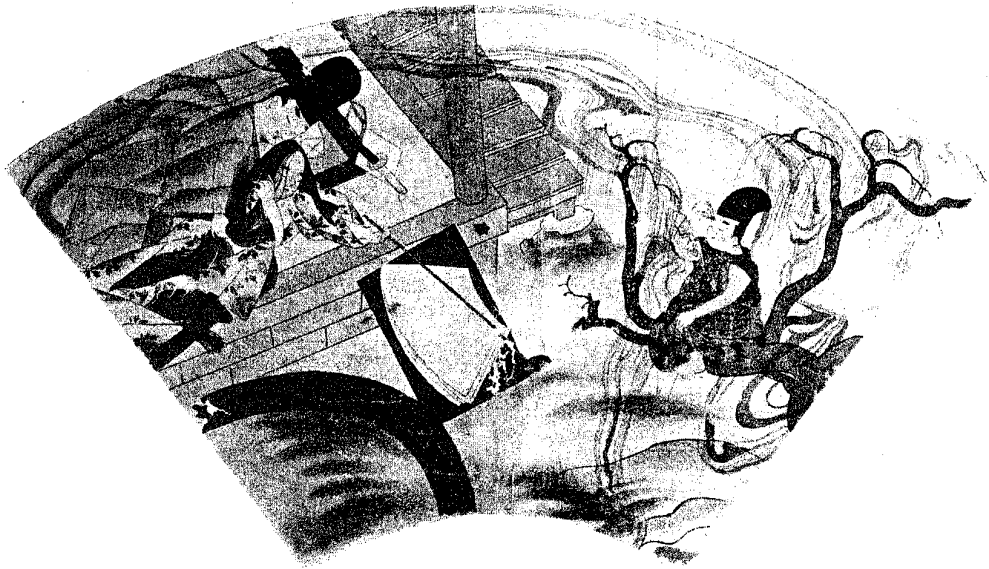


# 平安京右京三条二坊十六町

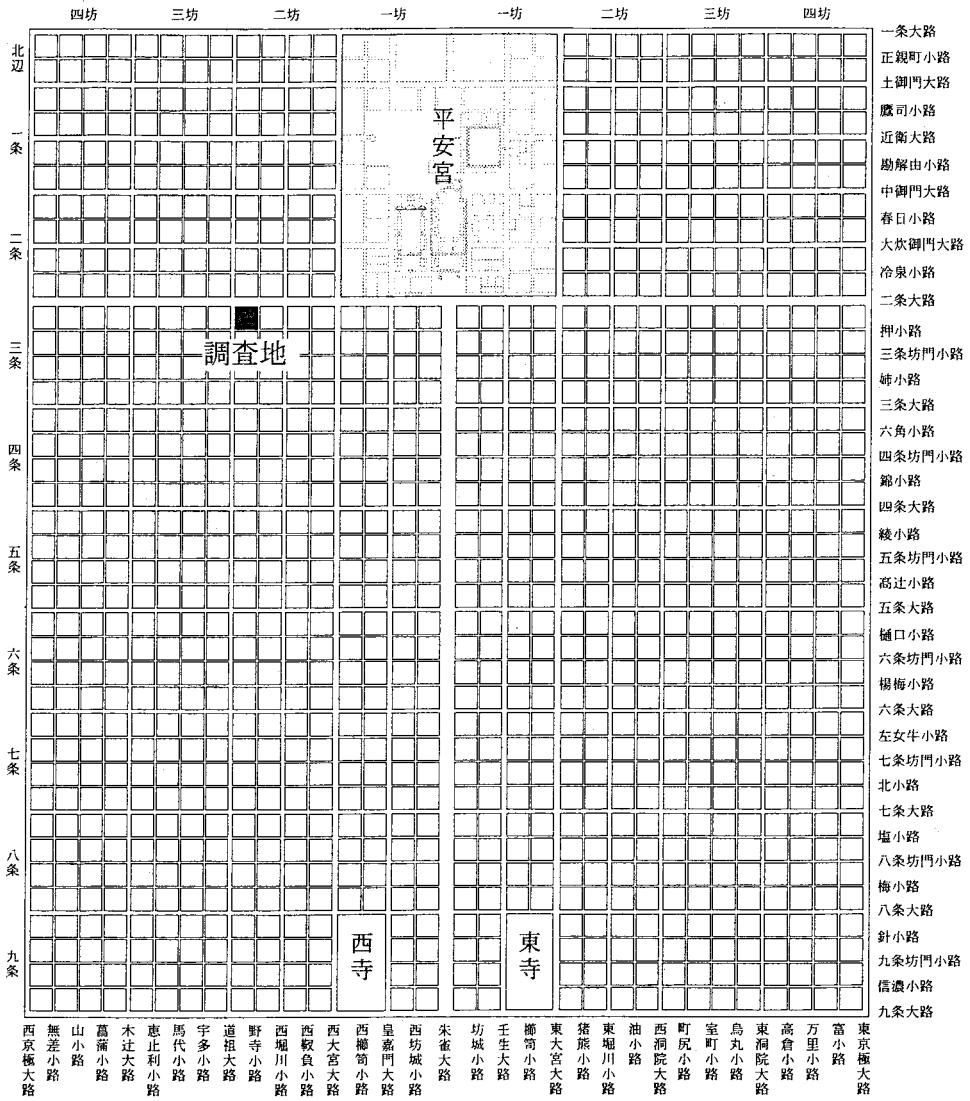
発掘調査現地説明会資料



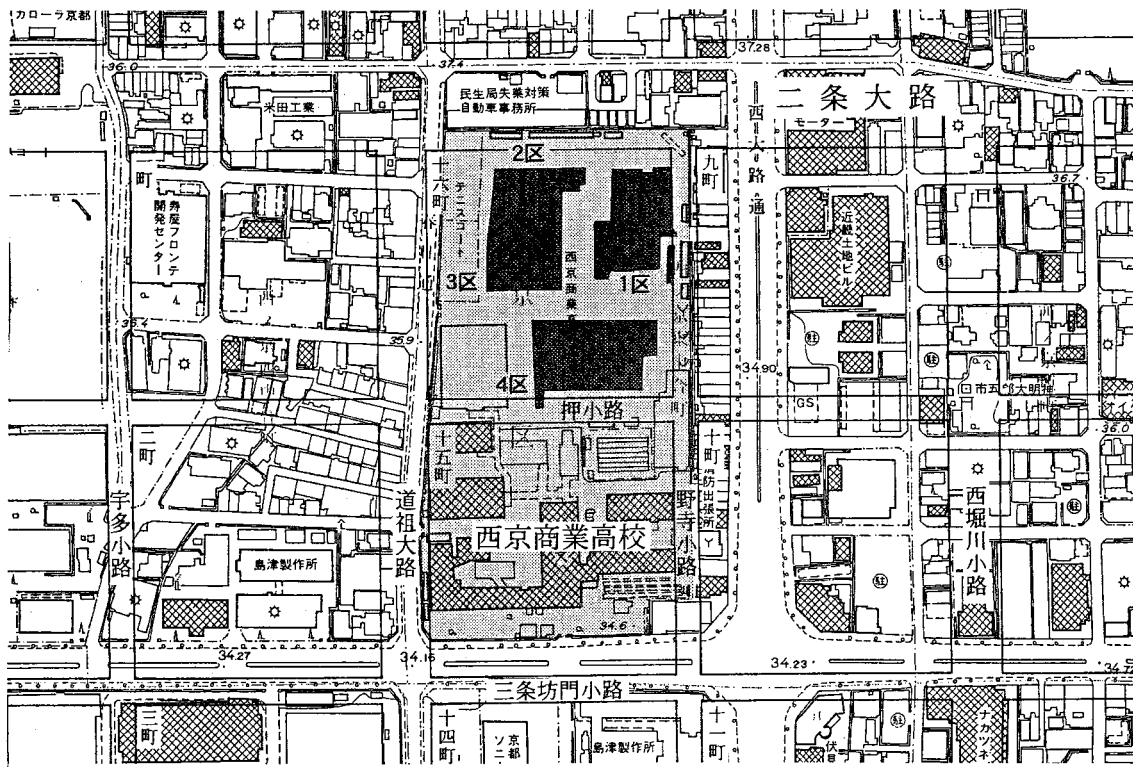
扇面法華經下絵（京都市立芸術大学蔵）

2000年3月20日

財団法人 京都市埋蔵文化財研究所



平安京条坊復原図と調査地点



調査区配置図

# 平安京右京三条二坊十六町発掘調査現地説明会資料

場 所	京都市中京区西ノ京東中合町 1	京都市立西京商業高等学校グラウンド
期 間	1999年7月から継続中	
調査面積	約 5,670㎡	
調査主体	(財)京都市埋蔵文化財研究所	

## 1、調査の経過

現在発掘調査を行なっている場所は、平安京右京三条二坊十六町にあたります。1981年度に実施した調査では、十六町の南東隅に井戸1基、南側の東西道路（押小路）の側溝および東側の南北道路（野寺小路）を確認しています。また、野寺小路路面推定部分が川のようになっていたことを明らかにしました。

今回の調査は、十六町のほぼ全域が調査対象地となっているので、平安京における土地利用の実態を明らかにすることを目的としました。

調査区は、第1区から第4区を設定しましたが、既に第1区は調査が終了し、現在は第2・3区と第4区の発掘調査を継続して行なっています。

## 2、調査の概要

第1区：掘立柱建物2棟（建物1・2）とそれらを区画する柵（柵1～3）、北東隅で井戸1基（井戸1）を発見し、十六町の北東部の様相を具体的に知ることができました。これらの遺構群は、出土した遺物から9世紀末から10世紀前葉に造られたと考えています。

建物1は、東西4間、南北5間の南北棟ですが、身舎の部分の柱穴を発見していません。おそらく、身舎部分は基壇状に高まり、礎石建ちであったと推定できます。建物2は、東西3間、南北5間の南北棟で、西と南北に庇（三面庇）を持つ構造をとっており、第2・3区の庭園に面していた可能性があります。

宅地内を区画する柵には、野寺小路推定西築地中心から7.5mほど入ったところで、南北方向の柵（柵1・3）があります。柵3は、二条大路推定南築地中心から37.5m南側で東西方向の柵2として西に曲がります。

なお、柵1の南よりの柱穴4つは他の柵の柱穴よりも大きく、建物1の柱穴に匹敵する規模をもっています。西側が粘土採掘穴で壊されていたため不明ですが、南北に細長い建物の東端の柱穴列の可能性も残されています。

井戸1は、一辺0.9mの方形縦板組井戸で、底部に曲物を据え付けていました。同位置で一度作り替えられています。また、井戸枠の縦板や隅柱には建築部材を転用しています。

野寺小路に関しては、東拡張区の調査において流路の西肩を確認しており、1981年度調査で発見した川の延長と推定できます。出土した遺物は、11世紀以降のものであり、調査区の南端では、この川に流れ込む東西の溝（溝1）を発見しています。野寺小路が川になるのは、宅地が廃絶した後であり、この時には十六町は耕作地として利用されていたと考えています。

第2・3区：園池（池1）とそれに面する建物2棟（建物3・4）、園池を区画する柵（柵4・5）などを発見しました。

園池の規模は、東西15m、南北40m、深さは0.5mほどしかなく、非常に浅い池でした。園池の北端には泉が設けられています。池の北東では、北岸をやや大きめの石で護岸し、南では東岸から半島状の張り出しを造り、水を南西方向に流しています。

池西岸の北半では、北西汀線から続く貼石の化粧を施しています。東岸北半部は、先端にひとかかえ程の石を据えた石敷の小さな張り出しを造り、その東岸中程の汀斜面に景石を据え付けた跡もあり、大きな景石を配置していたことがうかがえます。

南半は小さな玉石を敷き洲浜状に仕上げられており、池尻からは溝2で南西方向へ上水を流し出します。この溝には石や瓦が敷かれています。西端は池状に広がっていることから調査区南西にももう一つの池があった可能性があります。また、池の南岸から南へ延び、十六町南北中心で西へ折れ曲がる溝3があり、溝2との関係が注目できます。

泉は、当初一辺1.2mの規模で、厚い横板を方形に組んで枡を構築し、底の砂礫層から地下水が湧き出す構造でした。その後、枡の東辺と南辺を縮小し、石の組み直しも行なっています。泉から湧き出した水は、枡の南西隅から上水だけが南へ流れ、園池に流れ込みます。この流れ込み部分にも長さ0.9mの板で堰を設け、澄んだ水だけが池に注ぐように工夫されています。また、池底の中央部では、一辺1.5mほどの穴を下層の砂礫層まで掘り下げており、ここからも湧き水を得ていたと思われます。

なお、園池の東部では、泉につながる性格不明の溝（溝4）を確認しています。この溝は東西方向から南へ折れ曲がり、その箇所底面は細かい石敷となって調査区外に広がっています。これらのことから、第1区との間にもう一つの園池があるかもしれません。

建物3は、園池北西の陸部に泉や池を眺めるように建てられていました。規模は東西4間、南北4間の方形で南と東西に庇を持つ構造です。南東部の庇部分は園池に入っており柱穴を確認することができませんが、2箇所の柱は池中に礎石を据えていたと考えられます。おそらく、泉から流れてきた水は、この建物の南東床下を流れていく構造だったと推定できます。また、この建物に伴う地鎮遺構を建物の西北隅で発見しました。

建物4は、東西1間以上、南北4間を確認しており、東西棟と推定しています。この建物から

は、園池東岸の景石が正面となっており、南側にも池が広がるとすれば、東と南に池を望む配置になります。

また、調査区の北端と南端で園池部を区画すると考えられる東西方向の柵（柵4・5）を確認しています。ただし、柵5は東西建物の一部になる可能性もあります。

第4区：現在、建物跡などの遺構の確認を行っており、東半部では規則性をもって並ぶ建物群を発見しています（建物5～8）。建物5は、東端部しか残っていませんでしたが、南北2間の東西棟に復元できます。建物6・7は南北棟で、建物8は南北に庇を持つ東西棟と考えています。これらの建物群は、建物6の北端の柱列と建物5の中央柱穴、建物8は建物7と柱列を揃え、計画性をもって建てられたと考えられます。

西半部では2棟以上の建物が築地付近に建てられています（建物9・10）。このうち建物9は東に庇をもつ南北棟、建物10は南に庇をもつ東西棟です。

この他に調査区中央部でも部分的に柱穴を発見しており、十六町南半部も多数の建物が建てられていた様子がわかりました。

### 3、出土した遺物

池1から中国製陶磁器や緑釉陶器・灰釉陶器をはじめ多くの土器類が出土しました。特に池の北東部では9世紀末から10世紀前葉の土器が多量に出土しており、池の成立時期や廃絶時期などを知るうえで重要な資料となりました。

また「齋宮」「齋口所」と墨書された土器があり、宅地の性格を考えるうえで決め手となりました。池からは、平城宮・難波宮・長岡宮などで利用された軒瓦が多く出土しています。また、泉から祭祀遺物として大型の人形代が出土しているのも注目できます。

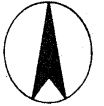
池1からは、植物の種子や花粉なども多く出土し、池周辺に植えられていた植物の種類を知る資料が得られました。

### 4、まとめ

今回の調査では、十六町が9世紀末から10世紀前葉の齋宮に深く関わる施設であることが墨書土器や出土遺物の内容から、ほぼ明らかになりました。

また、平安時代の庭園については、絵巻物などからその優雅な姿が推測されていましたが、実態については良くわかっていませんでした。しかしながら、今回発見した池の全容や池周辺部の植木や草花などの種類を明らかにしたことから、私たちは、平安時代の庭園を目の当たりにすることができることとなりました。

今後は、こうした調査成果を詳細に検討し、平安京における齋宮の暮らしぶりを明らかにしていきたいと考えます。

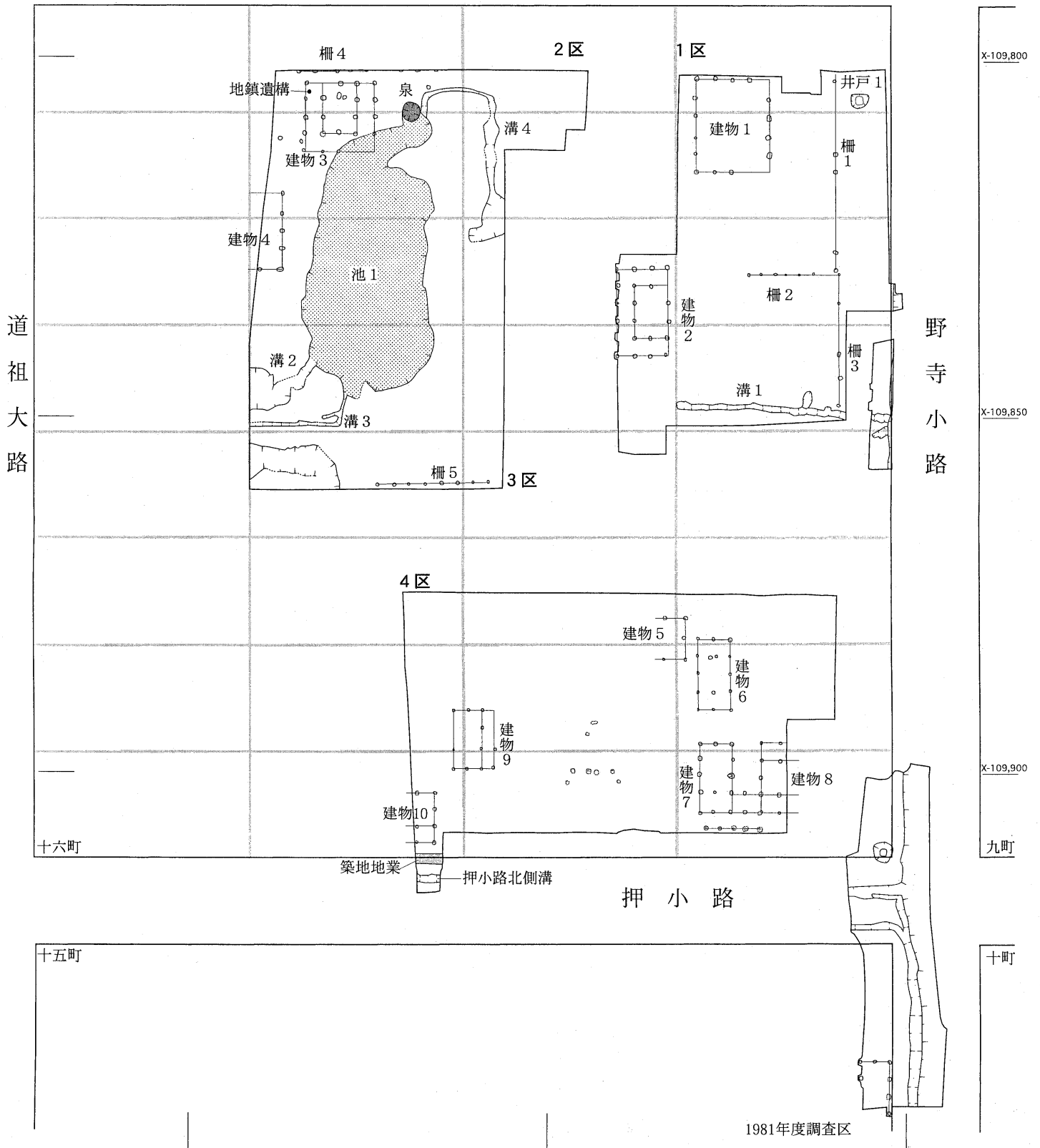


Y-24,350

Y-24,300

Y-24,250

# 二条大路



1981年度調査区

## 遺構配置図 (1/500)

## 墨書土器

○墨書が認められた土器は、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器など

### ●主な文字の内容

「齋宮」「齋口所」「菓」「六十」「長」「侍」など

## 池1埋土の分析（中間報告）

### ○木

- ・明らかに植えられていたと考えられる樹木  
カキノキ、カエデ類（イロハモミジなど）、ツツジ類（ツツジやアセビ）  
マツ類（クロマツかアカマツ）
- ・植えられていた可能性が高いもの  
キハダ、モチノキ類、エゴノキ類（エゴノキやハクウンボク）、スイカツラ類
- ・植えられていたか、または周囲に多かった樹木  
スギ、カシ、エノキあるいはムクノキ、アカメガシワ

### ○草

アヤメ科（アヤメやショウブ）  
コナギないしミズアオイ

### ○環境と水質

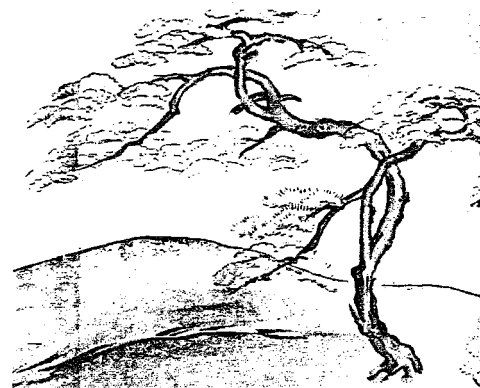
- ・樹木が生育し日陰が多かった
- ・汚濁性の珪藻はほとんど検出されず、池や泉はきれいな水であった



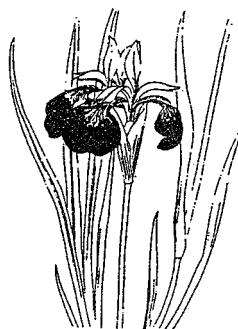
アセビ



カエデ



マツ



アヤメ



ショウブ



調査地遠景（西から）

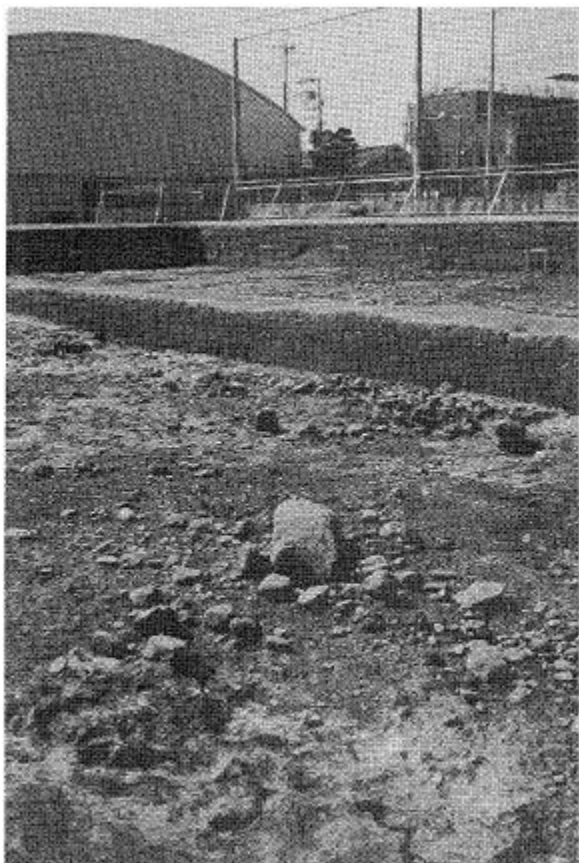


池1（北東から）



池1（東から）





池1 東岸景石と抜き取り跡（北東から）



池1 西岸北半部（北東から）



泉と池1北東部（北西から）



泉 人形出土状況（北西から）



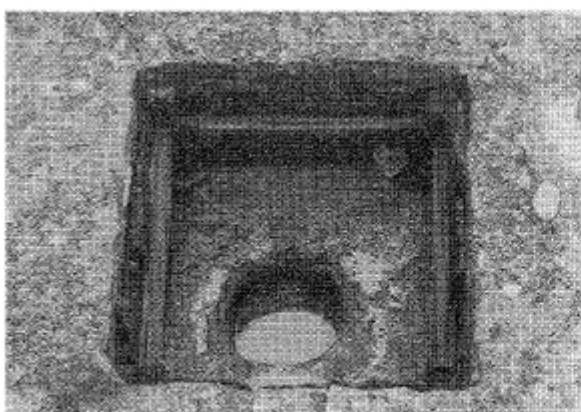
1区全景 (西から)



建物1 (西から)



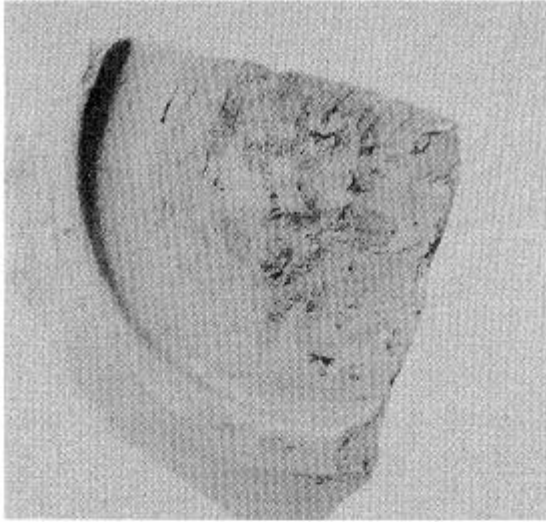
建物2 (北から)



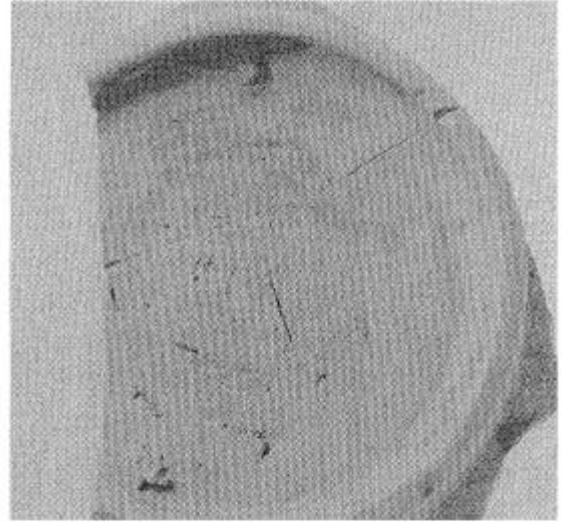
井戸1 (北から)



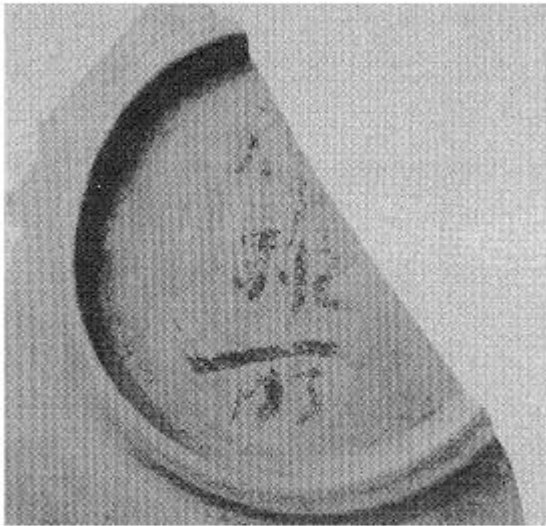
溝1 (西から)



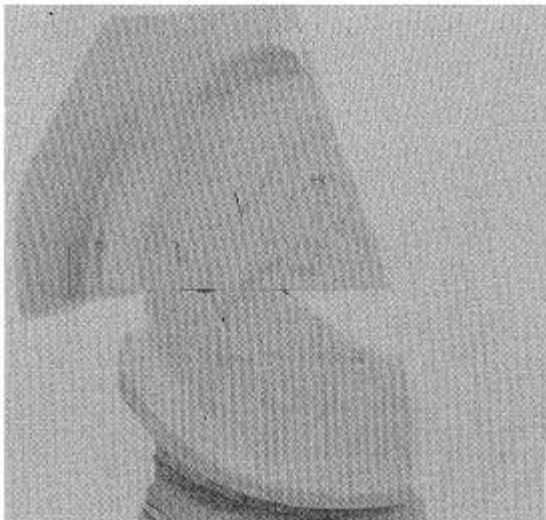
1 墨書土器「齋宮」



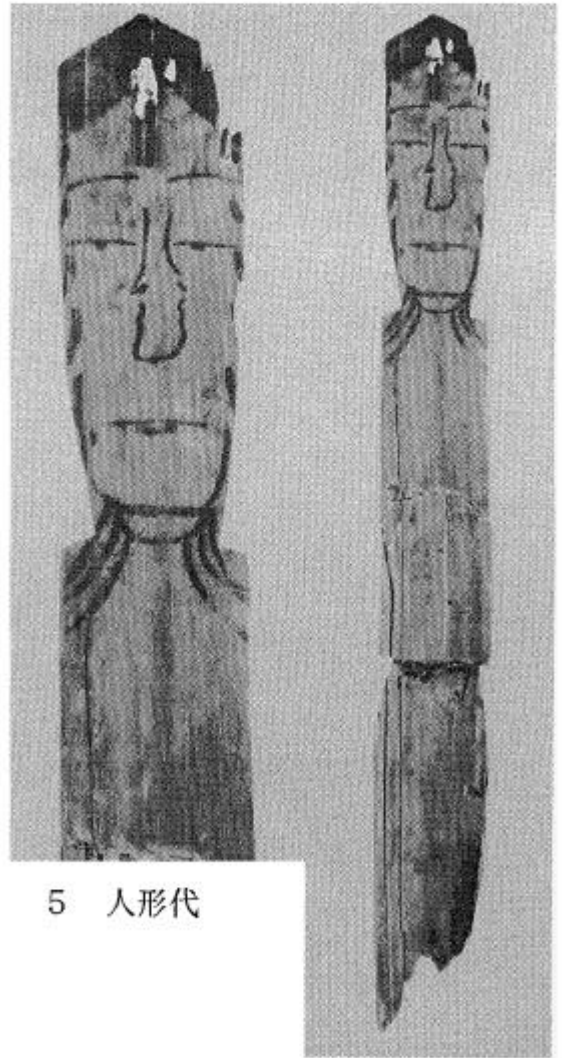
2 墨書土器「齋宮」



3 墨書土器「齋口所」



4 墨書土器「齋口所」



5 人形代

1~4 池1出土

5 泉出土